

2 学年通信

2020年4月7日発行

Catch the future

No. 1

なかだるむな！

大学入試センター試験の問題は、ほとんど高校1年生・2年生の学習内容から出題されました。共通テストになっても、その傾向は同様だと思います。まだ苦手科目が克服できていない人、1年生の授業内容が、まだ身についていない人は、**夏休みまでには、基礎固め**をしっかりとるようにしましょう。

2年生は、「なかだるむ」の学年という言葉がありますが、**なかだるむでなどいられません**。今年度、どの様に過ごすかが、皆さんの将来を決定します。

今年も、学年のキャッチフレーズは、**Catch the future 未来をつかめ** 自分自身の将来をつかみ取るために、努力しましょう。

昨年9月に実施された進路講演会で、「大学入試を本格的に考えて取り組み始めたのはいつから？」という話があったのを覚えていますか。

「合格率の変化」の説明で、高1・2学期で97％、高1・3学期で92％、高2・1学期で90％、高2・2学期で85％だったのが、高3の1学期では、合格率が37％に落ちてしまうとい話でした。講師の黒川氏は、「頭の良し悪しではなく、**スタートをいつするか。いかに早くスタートを切れるか**」と仰っていました。「高3で始めても、大概の人は落ちてしまう」という話もありました。

ミッションは命の使い方

先日、ラジオで「ミッションという言葉は、命の使い方だ」という話を聴きました。ミッションの日本語訳は、使命。命をどの様に使うかとは、**どの様に生きるか**とも言っていました。

新年度にあたって、目標を考える人もいると思いますが、ミッションは、目標より上位に置くべき考え方だそうです。英語の成績を上げたいとか、何番の順位を目指すとかは、目標です。それらを達成できたらどうなるのですか。希望の大学に合格することも目標です。合格が終点ではありません。合格後、何を学び、何を研究するのですか。さらに、大学を卒業した後は、どうするのですか。そのような個々の目標の大前提としてのミッション、どの様に生きるかが重要となるのです。

昨年度、校長先生が、おすすめの本を紹介してくれました。興味を持ったものはありましたか。何かに興味を持ち、何かを突き詰めたいと言う思いが、進路の方向を決めてくれるはずです。文系・理系関係なく興味を持ったことに対する本を読みましょう。志望の動機を聞かれた際にも、本を読んでいたれば、明確に動機として認められると思います。

新年度です。個々の目標と共に、**自分の人生をどう生きるか。何を生きがいとして生きるか**等も考えて新しい生活を始めましょう。

始業式から「自分で勉強できた人が、合格する」校長先生

「inputとoutputのバランス」深谷学習進路指導部長

「命を大事にしてください」田口生徒指導部長

大学ランク 東北大1位 英誌日本版、国際性を評価

世界大学ランキングで知られる英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」は24日、日本版の大学ランキングを発表した。**東北大が初めて総合1位となり、京都大が2位、東京大と東京工業大が同率で3位だった。**

日本版の発表は、今回が4回目。国内の278大学が参加し、上位20校のうち国立大が15校を占めた。

昨年3位だった東北大は、留学生比率などで測る国際性が評価された。東工大は国際性のほか、教育の充実度などが評価され、昨年の7位から大きく順位を上げた。世界ランキングでは研究力が重視されるが、日本版では教育の充実度や成果、国際性などを指標としている。

◆大学ランキング日本版上位20校

順位	大学名	国公私	順位	大学名	国公私
1(3)	東北大	国	11(11)	国際基督教大	私
2(1)	京都大	国	12(12)	広島大	国
3(2)	東京大	国	13(13)	早稲田大	私
3(7)	東京工業大	国	14(14)	慶応大	私
5(4)	九州大	国	15(16)	神戸大	国
5(5)	北海道大	国	16(15)	一橋大	国
7(5)	名古屋大	国	17(21)	長岡技術科学大	私
8(8)	大阪大	国	18(18)	金沢大	国
9(9)	筑波大	国	18(22)	東京農工大	国
10(10)	国際教養大	公	20(17)	上智大	私

※タイムズ・ハイヤー・エデュケーションの調査を基に作成。
()は前回順位

2020年(令和2年)3月25日
読売新聞朝刊より

難関大学に挑め

2020年度入試の国立大学の志願者は、前年度比で前期94％、後期92％だったそうです。難関国立10大学(北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学・九州大学・東京工業大学・一橋大学)では前年度比志願者は95％、東北大学の前期は、前年度比で91％でした。来年度入試から共通テストに切り替わるため、安全志向が強まったと言われています。本校では、国公立大学138人の合格があった一方で、上記の**難関10大学の合格者はいません**でした。

私立大学の合格数は、昨年ののべ355人に対して、今年のはのべ583人も合格をとったそうです。しかし、早慶上理(早稲田大学・慶應大学・上智大学・東京理科大学)は昨年10人に対して、今年14人。GMARCH(学習院大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学)は42人に対し、今年は44人の合格で、多数の私立大学合格も安全志向の結果だったようです。

さて、皆さんの希望する進路先はどこですか。難関と言われる大学には、人々が集まる魅力があるはずです。**あこがれの大学を、自分の母校にしたいくはないですか**。ぜひ、難関に挑む気概を持って下さい。

★令和2年度 第2学年学年団

普通科	文系	1組	担任	大島美智子先生(地歴公民科)	副担任	名和俊之先生(理科)
		2組	担任	原口秀徳先生(保健体育科)	副担任	松橋裕美先生(国語科)
		3組	担任	石井裕子先生(国語科)	副担任	井坂茜先生(芸術科)
	理系	4組	担任	松本秀弘先生(数学科)	副担任	岩佐歩野香先生(英語科)
		5組	担任	田中清嗣先生(理科)	副担任	石川亮子先生(英語科)
		6組	担任	斧田並枝先生(英語科)	副担任	矢之目澄先生(理科)
	理数科	7組	担任	町淳子先生(数学科)	副担任	笹沼範雄先生(地歴公民科)

学年主任 坂本壽幸(地歴公民科)